

ハッカ油

毎年、アロマの虫除けスプレーを買っていたのですが、今年はハッカ油スプレーを作ってみようと思っています。

というも、ハッカ油は

- ①ゴキブリや蚊などの虫除け
- ②汗の臭い取り
- ③花粉症の鼻づまり
- ④お風呂に入れて、清涼感アップ☆
(発汗も抑えられるそうです)
- ⑤マスクにスプレーしてリフレッシュ
- ⑥重曹と合わせて、カビ&湿気対策

こんなに活躍できるみたいですよ。他にもまだまだ用途はあるみたいですよ。ハッカ油スプレーの作り方、載せておきますので、よかったら参考してみてくださいませ。

■ハッカ油スプレーの作り方

- ①無水エタノール 10ml をスプレーボトルに入れる。
- ②①のスプレーボトルにハッカ油を 10～20 滴たらしてよく混ぜる。
- ③②のスプレーボトルに精製水を 90ml 入れて全体をよく混ぜる

今月の作品



ステンドグラスのキャンドルホルダーです。ガラスをいつもみたいにカットする訳ではなく色とりどりの小さなガラスを選んで半田付けて作っています。



お花の形の手鏡を作りました。ちょっぴりアンティーク風で、かわいく仕上がったと思います。

これからドンドン暑くなりますね。年中通してガラス作品はかわいいですが、やっぱり暑い夏は特に、涼しげで映える気がします♪



ステンドグラスのキッチンペーパー入れです。以前にお家の形で作ったことがあったのですが、ペーパーの量が少なくなると取りにくくて…なので、今回は取りやすさを一番に意識したデザインにしました。



お客様用のコーヒーのお砂糖入れを作りました。コーヒーのイメージに合わせて、コーヒー豆の飾りをつけました♪



フュージングで洋梨のお皿を作りました。結構このフルーツの小皿は人気があります☆



久しぶりにアクセサリを作りました。フュージングで作ったベネチアンガラスのピアスです。

ユニット新聞

2019年
5月31日(金)
第29号

毎月月末に発行します。
日々の暮らしに役立つ情報やユニットのオススメ情報、スタッフのコラムなど掲載していきます。

ブログやFacebookには、ガラスの作品も掲載しています。是非ご覧くださいね。
<http://blog.unit-interior.com>

Facebookもチェック



スタッフコラム

Unitガラス工房のリーダー。趣味はゴルフ。ちょっと毒舌?だけど、それはすべて「親しみをこめて」のこと。愛嬌たっぷり、ユーモアたっぷり、みんなを元気にするパワフルリーダー。



Unitガラス工房のナンバー2。とってもモキッチリしているのでビシッとUnitチームをまとめてくれます。趣味は、なんとメモ。いろんなことを記録するんです。ビックリ!あと、料理がとっても得意なので、みんなの体調管理もしてくれています。



自分の生活を変える

今年の2月から始めた『ガラス作家養成コース』手前ミソになりますが、本当にいいコースが出来たと思います。

昔と違い今はインターネットが広がり、自分で作品を製作すれば、作品を多くの人に伝えることが出来ます。

仕事、家事、育児をしながら、休日、或は空いた時間に技術を習得すれば、ガラス作家としてもいいし、副業でもいいです。『ガラス作家養成コース』を利用すればリスクが殆ど無い状態で自分の生活を大きく変えることが出来ます。頑張ってる多くの人と出会いワイワイ、ガヤガヤと、いろんなイベントを開催したいですね。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://unit-interior.com>

Unitガラス工房 検索

名古屋生まれで名古屋育ちの夫と私は、大のドラゴンズファン。それ故、連敗となるとテンションは最悪。特に、「最終回サヨナラ逆転負け」を招く抑え投手起用の采配には、不機嫌極まりない。お茶の間監督&コーチとしては、「二軍で鍛え直せ!」と叫べども、現実には逆に規定回数以上に登板し挽回のチャンスが与えられている。育てる時期だからと。

先日、こんな話を聞いた。「電車の中で、スマートフォンに夢中な母親の横で2〜3才位の男の子が靴のまま座席に上がり車窓を眺めていたので、勇気を振り絞って、しかも凄く穏やかな口調で諭したところ、『うちの子に声を掛けないで!』と母親に逆ギレされショックを受けた」と。私もこれまで何度か、「親が正しく教えるべきでしょ!」と言いたい場面があったが、雰囲気が悪くなるだけの一方通行が落ち。人は誰しも、褒められ必要とされる事こそが嬉しい。だからこそ、『褒めて伸ばす』指導者が求められるのも納得できる。但し、『褒める』と『おだてる』は似ているようで実は全く違う。正邪を教え、時には叱り、相手に寄り添い理解し認めることが『褒めて伸ばす』ことではないかと…いずれにしても、物事の善悪は表裏一体。各々の立場や価値観により、どちらにもなり得るもの…そう思うなくてはね。

ああ〜それにしても『燃えよ!我等いとしのドラゴンズ〜。』

Unitガラス工房のHP担当。月刊ユニット新聞の編集長。他にもサンドブラスト、フュージング、ステンドグラスのガラス教室を担当しています。今は、4歳の男の子の子育て中。ドタバタな日々を送っています。ぜひ、アドバイスがあれば…ご指導ください。



年中になってから息子の靴下が汚いんです。毎日外遊びをしてくるせいか、泥こで…。まず洗濯洗剤でゴシゴシ手洗いして、それから洗濯機で洗ってもなかなか靴下の網目に入ってしまった泥汚れや靴下の裏の汚れが落ちてくなくて悩んでいました。まだ最近始めたばかりですが、帰ってきてすぐに靴下をとりあえず簡単に手洗いして、それから流行りのオキシ漬けを試してみました。すると、今まで泥汚れでくすんでいた靴下が、気持ちのいい白に蘇りました☆あんなにゴシゴシ手洗いしても落ちなかった毎日なんだったんだらう…と思うほどです。あまりに画期的な簡単さと綺麗さなので、今では靴下のついでにスモックや台拭きも一緒に漬けています。また、上靴の持ち帰りの日は、上靴と一緒に外靴もオキシ漬けしています。楽な上に、すっごく綺麗になるので気持ちがいいです♪

すっかりマイブームになってしまいました。TVで見る掃除の達人さんのように、お風呂もオキシ漬けしてみようかな〜なんて思っています♪



Unitガラス工房の工房長。羊毛フェルト教室とサンドブラストのガラス教室を担当しています。手先がすごく器用なので、大工仕事も得意です。いつも工房では作業着ですが、私服はとってもオシャレ☆

クマのガマグチを作りました。最近読んだ本の中で、彫刻家が色について話していた事が印象に残っていたので、このガマグチを作る時に試してみた事があります。「私たちが見ている白は純白ではない、周りの色を吸収、反射して虹色に輝いている。だから白色を塗る時に、赤青緑紫黄色…様々な色を薄く塗るのだ」なるほど。だからあの深みのある白色になるのかと感心しました。

このクマも仕上げに6色くらいの羊毛を所々に刺してあります。写真にもうつらないほどの些細な違いですが、刺す前とは確かに違います。真っ白な部屋から、私たちが暮らす雑多な色が混在する場所に移動したような実在感がでた感じです。

